



# 町長室だより

築上町長 新川 久三



月日の経つのは早いもので、平成27年の最後の月となりました。又晩秋も終わり霜の降りる時期ともなりました。

## 延塚奉行追善供養祭

築城郡（ついきごおり）筋奉行延塚卯右衛門は、天保7年の凶作を憂い、年貢米の猶予を藩に嘆願したものの聞き入れられず、独断で藩から農家が借用している根付料を免除し、年末の旧暦12月1日の未明に藩への不忠に対し切腹して責任を果たし、領民を救済しました。昭和30年に椎田町、八津田村、葛城村及び西角田村の合併後に当時の町長辻畑重俊氏が中心になり延塚奉行顕彰会を設立し、築上町発足後に於いても会を継続して現在に到っています。

今年の供養祭行事は12月13日、8時から椎田体育館で武道大会、10時から延塚会館（椎田学供）で供養祭式典を行います。多くの町民のご参加をお願いします。そし

て浜宮と小山田に建立されている延塚奉行を顕彰する石碑の管理を顕彰会で行っています。延塚奉行の遺徳を後世に繋げるため、一世帯あたり百円の募金を構成団体の自治会長会を通じて行っています。宜しくご協力をお願いします。

## 町合併10周年にあたって

築上町が発足して10周年を迎えています。振り返ってみますと平成の合併で3200団体あった市町村が1800団体になりました。平成15年度は行橋市、勝山町、犀川町、豊津町、築城町及び椎田町で1市5町合併協議会を組織して話し合いをしていましたが築城町の協議会離脱に続き椎田町も脱退をしました。そして両町とも豊前市と協議会を組織して合併話を進めていましたが椎田町の住民投票において僅差で合併反対票が多く豊前市との協議会も頓挫をしました。

急遽、築城町から椎田町に両町

合併の申し入れがあり、協議会を発足し、平成18年1月10日に築上町がスタートしました。

合併により良かったことは破綻状況にあった町財政の建て直しが出来たことです。これも、合併による国県の財政支援、職員数2割50名の減員、町三役、議員数の削減が財政立て直しが主な要因です。町の積立金は合併当初の17億円に比べ40億円増加しており、借金は141億円あったものが96億円と45億円減りました。合併により住民の皆様には役場本所と支所に別れて不便を感じていることだと思いますがご理解ください。今後の課題は学校、役場庁舎、橋梁等々社会資本の整備に支出が見込まれるので、より有利な国の補助金の活用等弾力的な財政運営を行いながら住民サービスの向上を図りつつ、住み良い町づくり職員共々邁進しなければなりません。また、町民の皆様のご協力を仰ぐこともございますので宜しくお願ひします。

一段と寒さが増して参ります。町民の皆様にはご自愛いただき、よき新年を迎えられますようにご祈念します。

## 宝くじ助成でコミュニティ備品を新調

今年度築上町に（財）自治総合センターが実施する「宝くじ助成事業」による助成を受けて12台のリアカーを整備しました。自主防災組織強化を促進するため、11月1日に開催した高塚地区避難訓練で使用しました。

「一般コミュニティ助成事業」は、宝くじ事業収入を財源として、（財）自治総合センターから地域コミュニティ組織の活動に必要な備品等に対して資金が助成される制度です。

自主防災組織の強化及び促進のためにリアカーを使用する試みがありましたらお問い合わせください。

問い合わせ 総務課 行政係（本庁内線333）

